

## 明治学院コンサート・シリーズ 第107回 《若きブラームス》

2019年 3月23日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)

明治学院大学 白金アートホール

入場無料 (一般の方々・学生、どなたにも開かれています。)

### ハイドン／弦楽四重奏曲 作品 9-1 レーガー／無伴奏ヴィオラ組曲 第3番 ブラームス／弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調

ブラームスの室内楽の中でも、とくに人気が高い弦楽六重奏曲第1番は、作曲した当時27歳の彼の若さと情熱が横溢した傑作です。通常の弦楽四重奏にもう一本ずつのヴィオラとチェロが加わった、非常に重厚な響き。レーガーも、同じドイツロマン派の継承者。古典的なハイドンと併せ、至高の響きを持つ、140席白金アートホールで。

#### 佐藤 まどか さとう・まどか (violin)

東京藝術大学大学院博士後期課程修了。シベリウスの研究で博士号を取得。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位をはじめとして、ブラハの春国際音楽コンクール、ヴァクラフ・フムル国際コンクール、ロドルフォ・リピツァー国際コンクールなど入賞多数。ソリストとしての活動を中心に、国内外において室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を展開、国際的にも高い評価を受けている。上野学園大学准教授。contemporary α メンバー。日本シベリウス協会理事。

#### 西野 絢實 にしの・あやか (violin)

3才よりヴァイオリンを始め、11才でスズキメソッド全過程終了。名古屋市立菊里音楽高校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。第28回子どものためのヴァイオリンコンクール金賞。第12回、第14回日本演奏家コンクール入選。第21回クラシック音楽コンクール全国大会入選。松田節子、石田なをみ、森下陽子、海野義雄、沼田園子の各氏に師事。

#### 柘植 藍子 つげ・あいこ (viola) <ハイドン、レーガー>

3歳よりヴァイオリンをはじめ、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校入学を機にヴィオラに転向。東京芸術大学音楽学部卒業後、2016年同大学音楽研究科修了。芸大フィルハーモニア管弦楽団に tutti 奏者として一年間在籍、現在オーケストラの客演を主な活動としている。ヴァイオリンを市川映子、片山淑子、浦川宜也、ヴィオラを大野かおる、川崎和恵の各氏に師事。

#### 森田 綾乃 もりた・あやの (viola)

フェリス学院大学音楽学部演奏学科卒業。同大学ディプロマコース修了。イタリアにて室内楽マスタークラス修了。ドイツにて California International Music Festival 参加。オーストリアにて師匠 F.シュタートラー氏と共演。ヴァイオリンを名倉淑子、F.シュタートラー、ヴィオラを鈴木康浩各氏に師事。現在様々なジャンルで演奏活動を行う。横浜市民広間演奏会会員。

#### 加藤 陽子 かとう・ようこ (cello)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を福島賞、安宅賞、同声会賞を受賞し卒業。同大学院修士課程修了後、渡欧。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席奏者タマーシュ・ヴァルガ氏のもとで研鑽を積む。第15回松方ホール音楽賞第1位。第9回ビバホールチェロコンクール第2位。第80回日本音楽コンクール入選。第1回青森県立美術館「チャイコフスキー・ピアノトリオ・オーデション」第1位等多数受賞。

#### 半澤 朝彦 はんざわ・あさひこ (cello) <ハイドン>

霧島国際音楽祭、京都フランス音楽アカデミーなどに選抜され、堤剛(桐朋学園大学)、F.ミュレル(パリ国立音楽院)の各氏らのマスタークラスで演奏。2010年、英国 Trinity-Guildhall 音楽院ディプロマで同音楽院生相当の成績。本学国際学部准教授(国際関係史、音の政治学)。本シリーズをプロデュース。G.トゥリエール、毛利伯郎、J.ウォードクラークの各氏に師事。

**【明治学院国際学部コンサート・シリーズ 第107回】** ☆明治学院白金アートホールへの行き方: JR品川駅高輪口より都営バス「目黒駅」行、またはJR目黒駅より「大井競馬場」行きに乗り、「明治学院前」下車。または、地下鉄南北線の白金高輪、白金台、浅草線の高輪台からいずれも徒歩5分。ホールはキャンパス内、東門に近いガラス張り建築の「パレットゾーン」2階奥。  
※本シリーズのこれまでの演奏会、今後の予定は、明治学院大学、国際学部のHP(イベントの項)で常時ご覧になれます。